

あらゆる場所の動力盤を無線で作業効率を図る『動力盤の状態把握』

■課題

製造業での設備増加に伴い、モーター駆動や電灯の電源を供給する動力盤が追加で設置され、設置場所は多点にまたがります。既存設置の動力盤に関しては、老朽化が課題となり動力盤に負荷が掛かり、火災が発生するケースもあるため、定期的なメンテナンスは非常に重要になっております。

■概要・期待効果

工場敷地内のあらゆる場所に設置されている動力盤の電力状況を計測して負荷状態や瞬間的な最大負荷を計測して電力量データを無線で集計して設備の安定稼働を保たせます。また、データに異常があった際は管理者宛に警報メールが届けることでメンテナンスは効率的かつ最低限の回数で済ますことが可能になります。

